

令和3年度委員会報告

[9] 在宅支援・訪問看護委員会

委員長 山田 真理子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 6回(中止6回)

2) 検討事項

- (1) 令和3年度訪問看護ステーション管理者企画交流会/講演会企画・開催・まとめ
- (2) 在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関する実態調査後の分析

2. 活動報告

1) 会議等

- (1) 3委員会(社会経済福祉委員会・看護師職能委員会Ⅱ・在宅支援・訪問看護委員会)合同活動に関わる3委員長会議 7月7日、11月5日 出席者：各1名

2) 学会・研修等参加

- (1) 訪問看護サミット2021(オンライン) 11月6日 参加者：1名

3) 交流会・情報交換会等

- (1) 研修名 訪問看護ステーション管理者交流会/講演会

開催日 9月19日(オンライン)

講師 慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 山岸 暁美 氏

内容 訪問看護ステーションにおけるBCPを考える

- ・BCPとは何かを理解する
- ・感染症発生時と自然災害時のBCP
- ・策定とその後に運用についての知識や方法

対象 訪問看護ステーション管理者等

受講者 53名

- (2) 情報交換会

開催日 11月10日

内容 訪問看護師養成講習会(新任期)における情報交換会

対象 訪問看護の新任者

参加者 55名

3. 今後の課題・検討事項等

令和3年度は令和2年度から引き継いだ「在宅における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策に関する実態調査」実施後の分析を行った。令和4年度も引き続き取り組み、具体的な対策を講じていく。また、訪問看護を担う人材の確保と育成は今後の重要課題であり、訪問看護師養成講習会の教育体系についても検討していく。近年は訪問看護事業所数が増えているが、質の担保は十分でない。教育体系を見直すことで、提供する看護の質の向上を目指す。